

やまなし 交通安全情報

財団法人 山梨県交通安全協会
財団法人 山梨県交通安全協会各支所

発行所
山梨県交通安全活動推進センター
TEL 055-280-5550
〒400-0202 南アルプス市下高砂847
(ホームページ)
<http://www.yln.or.jp/user/ankyoku/>

- | | | |
|------------|-----------|-------------|
| 甲府交通安全協会 | 南甲府交通安全協会 | 南アルプス交通安全協会 |
| 韮崎交通安全協会 | 北社交通安全協会 | 鯉沢交通安全協会 |
| 南部交通安全協会 | 笛吹交通安全協会 | 日下部交通安全協会 |
| 富士吉田交通安全協会 | 大月交通安全協会 | 上野原交通安全協会 |
-
- | | | |
|-------------------|------------------|--------------|
| 自動車安全運転センター山梨県事務所 | 社団法人・山梨県トラック協会 | 山梨県タクシー協会 |
| 社団法人・山梨県バス協会 | 社団法人・山梨県自動車整備振興会 | 山梨県軽自動車協会 |
| 中日本高速道路株式会社八王子支社 | 山梨県自転車軽自動車商協同組合 | 山梨県二輪車安全普及協会 |

CONTENTS

2	交通死 半数以上が高齢者	4 5	各地区安協の活動
3	新連載 女性部登場 第一弾は笛吹安協 県交通安全協会新年度計画	6	セーフティドライブ表彰
		7	交通安全功労者を表彰
		8	協賛団体の交通安全情報

166号

春の全国交通安全運動

4月6日から15日

子どもと高齢者の事故防止徹底



4月10日(金)は 交通事故死ゼロ を目指す日

交通死亡事故は記録に残る昭和43年以降、毎日発生しています。
一人ひとりが交通ルールを守り、交通マナーを実践し、交通事故のない安全で安心な社会を築きましょう。

たたきつけるような雨の中、街頭活動を熱心に進める日下部安協役員ら
——山梨市北の国道140号(日下部警察署前)

春の全国交通安全運動が四月六日(月)から十五日(水)までの十日間実施されます。県内では山梨県交通安全対策本部と山梨県交通対策推進協議会が主催して展開されます。

運動のスローガンは「運転は人に社会に思いやり」。新入学児童に交通规则の理解を深めてもらい、交通マナーの習慣づけを徹底するとともに、高齢者の交通事故防止も積極的に推進します。

運動の基本は「子どもと高齢者の交通事故防止」。①全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底②自転車の安全利用の推進③飲酒運転の根絶の三点を重点として全国一斉に運動を展開、県内でも十二の地区安協、各警察署などが呼びかけ、各地域で「子どもと高齢者の交通事故防止」に向け、啓発活動を行います。



子の成長 願う心とチャイルドシート 渡れそう 今なら行けるは もう危険 じこがない そんなまいにち うれしいな

交通死 半数以上が高齢者

道路横断中の事故が最多



県内の交通事故は五年連続して発生件数、死者数、負傷者数のいずれも減少し、死者数は、昭和三十三年以降最少であった平成十九年をさらに下回る少ない数となりました(表1参照)。しかしながら、全死者数の半数以上を高齢者(六十五歳以上)が占め、飲酒運転による悲惨な死亡事故

も後を絶たないなど、交通事故情勢は依然として厳しいものがあります。
高齢者事故は増加傾向
交通事故全体が減少傾向にある中、高齢者の交通事故は若干の変動はあるものの増加傾向を示しています。昨年は千五百七十七件で十年前の約

一・六倍に増加しています(表2参照)。さらに高齢者が全死者数の半数以上を占めるほか、第一当事者(過失が重い当事者)となる死亡事故も十五件発生し、前年より五件も増加して死亡事故の30%を占めています。高齢者は、今まで「交通弱者」として被害者の立場で捉えられてきた

が、最近では加害者となるケースが増加している状況にあります。一方、県内の高齢化率(人口に占める高齢者の割合)は23・0%で、全国に比べ約二年早く高齢化が進んでおり、十一年後の平成三十二年には高齢化率は30%を超えるものと推定されています。

このような情勢から、今後も高齢者の交通事故の増加が懸念されることとなります。
加齢に伴う身体機能の衰え
高齢者の交通事故は約90%が昼間の時間帯に発生し、歩行中の事故は、道路を横断中にはねられる事故が最も多く、横断歩道以外の場所の横断や車両の直前・直後の横断が主な原因です。一方、自動車等運転中の事故は、交差点等での出会い頭と追突事故で運転中の事故の66%を占めており、主な原因は、安全不確認、前方不注意、ハンドル・ブレーキ操作不適などであり

これらは加齢に伴う視力・聴力等の身体機能の衰えによる「認知」「判断」「操作」が適切にできていないためと考えられます。
加齢に伴い、個人差はありますが①歩行が遅くなる②歩行や自転車・二輪車での走行が不安定になる③危険を回避するために咄嗟の行動をとることが困難になる④危険の発見や回避が遅れがちになる⑤目力の変化が現れます。誰でも年を重ねるごとに物が見えにくくなったり、瞬発力などの身体機能が低下します。高齢者の方は、こうした身体機能の変化を自覚することが何よりも大切なことです。

高齢者の事故防止策
高齢者は、交通事故を防ぐために次のことを実践してください。
①歩くときは少し遠回りでも信号機や横断歩道を利用する。
②左右の安全をよく確認する。
③明るい色の服装を着用し、夜間は反射材を付ける。
④車の直前直後を横断しない。
⑤健康状態に注意して、体調の悪いときは運転を自粛する。
また、運転に自信が持てなくなったり、運転免許証の自主返納も考えてみましょう。自主返納者には、タクシー運賃割引制度などの支援もあります。一方、一般のドライバーは、

運転するときは
①乗ったら全席シートベルト着用を徹底する。
②交差点では信号の確認や一時停止をしっかりする。
③前をよく見て考え事をしない。
④十分な車間距離と安全な速度で走行する。
⑤健康状態に注意して、体調の悪いときは運転を自粛する。

また、運転に自信が持てなくなったり、運転免許証の自主返納も考えてみましょう。自主返納者には、タクシー運賃割引制度などの支援もあります。一方、一般のドライバーは、

高齢者事故の現状や高齢者の特性を理解して、思いやりのある運転で高齢者を交通事故から守りましょう!!

山梨県警察交通部から

平成二十年の県内の交通事故は、発生件数、死者数、負傷者数ともに平成十六年から五年連続の減少となりました。特に、死者数につきましては、五十人で、昭和三十三年以降では最少となりました。

しかしながら、交通事故総数が漸減するなか、未だに、八千人以上の方々が交通事故で負傷しており、死者数に占める高齢者の割合は十年前の平成十一年の36%から52%と右肩上がり増加しているほか、高齢運転者による死亡事故

も増加傾向にあります。このように、交通安全協会の皆様、自治体、関係機関・団体の皆様と協働して各種抑止対策を推進した結果、「第八次山梨県交通安全基本計画」で示された「平成二十二年まで

今後は、更なる交通事故抑止に向けて、
○子どもと高齢者の交通事故抑止
○飲酒運転の根絶

上げるためには、県民の皆様が交通安全ルールを守っていただくとともに他人を思いやる交通安全マナーを実践していただくという安全意識を高める総合的な取り組みを推進することが重要であります。

このため、地域や職場に密着した交通安全活動を展開していくことが重要です。安全・安心で快適な交通社会を実現するため、県民一人ひとりが自発的に交通安全ルールを守っていただくよう、引き続き各種交通安全対策の積極的な推進をしていただきますようお願い申し上げます。

安全・安心で快適な交通社会の実現

県警交通部長 廣瀬 文三勝



安全のために

転者による死亡事故も増加傾向にあります。このように、交通安全協会の皆様、自治体、関係機関・団体の皆様と協働して各種抑止対策を推進した結果、「第八次山梨県交通安全基本計画」で示された「平成二十二年まで

今後は、更なる交通事故抑止に向けて、
○全席シートベルトの着用の徹底
○自転車の安全利用の促進の4点を重点に、各種対策を推進してまいります。

安全・安心で快適な交通社会を実現するため、県民一人ひとりが自発的に交通安全ルールを守っていただくよう、引き続き各種交通安全対策の積極的な推進をしていただきますようお願い申し上げます。

安全・安心で快適な交通社会を実現するため、県民一人ひとりが自発的に交通安全ルールを守っていただくよう、引き続き各種交通安全対策の積極的な推進をしていただきますようお願い申し上げます。

振り込め詐欺に注意!
山梨県警察本部 生活安全企画課生活安全対策室 (055-235-2121 内(3031,3034))
～「自分は騙されない」という油断が命取り～

H20年中 被害件数 **91件**
H20年中 被害総額 **1億1,800万円**

犯人たちは、被害者の不安や焦りにつけ込み、「オレオレ詐欺」「架空請求詐欺」「融資保証金詐欺」「還付金等詐欺」など、いろいろな手口で犯行に及びます。最近では、警察官等を装い直接自宅を訪問して通帳やキャッシュカードをだまし取る手口や、宅配便や郵便で送金させる新たな手口も増えています。被害者の多くは「振り込め詐欺」を知っていたにもかかわらず被害に遭っています。「自分は騙されない」と油断せず、少しでも不審な点があれば、「振り込め詐欺」を疑ってください。

振り込め詐欺被害に遭わないために
○ すぐに振り込まない
○ 必ず誰かに相談する
○ 家族であらかじめ「合い言葉」を決めておく

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう

損害保険代理店
株式会社 たいよう共済山梨支店

甲府市丸の内二丁目16-1
富士急ビル6階
TEL055-228-0691

1 笛吹安協

女性部登場

活動の中で培う交通安全



桃源郷と言われる笛吹市は、国道1号を中心とし、温泉郷の石和町や春日居町、それに桃やぶどうの観光農園を訪れる県外ナンバーの車で賑わう交通量の多い市です。

石和、御坂、一宮、八代、境川、芦川、そして春日居支部が加わり、清く正しく優しい三十三名の女性役員構成のもとに、三枝会長と支部の副会長の深い愛情と協力、理解に見守られて活動しています。

主に春及び秋の全国交通安全運動の街頭指導で使用する啓発物品作りをします。春は市の花でもあるバラの苗木八百本をバラ農家の協力をいただき、配布しやすいように整える作業をします。バラが花をつけ、各家庭で交通安全について話し合おうきっかけになってほしいと願いつつ、汗を流しました。秋には「君(黄身)を守る」をテーマに千三百個のゆで卵を作り、笛吹北詰交差点での街頭指導所で配布

啓発に市の花バラ800本配布 「君(黄身)を守る」卵も名物に

しました。もちろんスローガンを入れた赤・青・黄の信号の色にちなみ、かわいい交通安全卵ができました。また、各支部ごとに地域性豊かな手作りの啓発物品を作製し、支部で行われる街頭指導所の活用を始め、笛吹警察署ロビーに展示して、警察署を訪れる方々に交通安全を呼び掛けるなどしています。二月には一年の活動を振り返り、研修会を開催しました。講師に笛吹警察署長をお願いして今回で四年目になりますが、署長さんとの交流も深まり、実りある研修になりました。交通安全の啓発には常にサポートしていただき、心より感謝申し上げます。三枝会長の口癖でもある「人と車に思いたい」を目標に、生命は地球より重いと常に思いつつ、ボランティア活動を楽しく、手と手を合わせて進進してまいりたいと思います。(文責・樋川保子)

交通安全推進 「宣言」採択も

南アで県民大会

平成二十一年交通安全推進県民大会(山梨県・山梨県交通安全推進協議会・山梨県警察本部・山梨県交通安全協会

年 交通安全推進県民大会



約700人が参加して開かれた交通安全推進県民大会 南アルプス市桃源文化会館

交通安全宣言

交通事故をなくすことは、県民すべての心からの願いです。

平成20年中は、県民あげて交通死亡事故抑止対策を進めた結果、交通事故による県内の死者数は50人であり、昭和33年以降最も少なかった昨年の52人をさらに2人下回り、発生件数・負傷者数ともに減少することができました。

しかしながら、人口10万人当たりの死者数は全国平均を上回っており、なかでも、高齢社会が進展する中で、全死者数の半数以上を高齢者が占めているなど、交通情勢は依然として厳しい状況にあります。

私たちは、生命の尊さと交通事故の悲惨さを深く認識し、「安全・安心に暮らせる山梨」を築くため、県民一人ひとりに交通ルールの遵守と正しい交通マナーの向上を目指し、関係機関・団体をはじめ道路交通の場に参加するすべての人々と協力し、地域・家庭・学校・職場において、次の対策を強力に推進することを誓います。

- 1. 高齢者と子どもの交通事故防止
- 1. 飲酒運転の根絶
- 1. 自転車の安全利用の推進
- 1. 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 1. 早めのライト点灯の徹底と反射材使用の推進
- 1. 運転中の携帯電話等使用等禁止の徹底

以上宣言します。

平成21年 2月12日

平成21年交通安全推進県民大会

また中村早希さん(双葉中学校)と西川奈々さん(増穂中学校)による交通事故防止について自らの体験による、心に強く訴える弁論が披露され、会場の皆さんからは「感動した」、「素晴らしい」とのこたばをいただきました。

主催)が南アルプス市桃源文化会館で開催されました。大会には横内正明山梨県知事、宮城直樹山梨県警察本部

主権者の挨拶、来賓の祝辞に続き「山梨県飲酒運転根絶作戦優良市町村表彰」で大月市、北杜市、西桂町、鳴沢村、小菅村、丹波山村が受賞され、引き続き、全日本交通安全協会が募集した交通安全スロー

ガンで最優秀(内閣総理大臣賞)に入選された甲府市高村晴夫さん、同じく交通安全フアミリー作文で優秀賞に入選した富士吉田市坂本洋子さん、佳作に入選した笛吹市高

念品を贈呈いたしました。「交通安全宣言」は参加者を代表して、甲府交通安全協会青年部の小林浩司部長が朗読し、参加者全員により宣言を採択

長、森屋宏県議会議長をはじめ県下の交通安全協会などの交通関係団体と、南アルプス老人クラブの皆さんら約七百

木美穂さんの三名に対し山梨県交通安全協会より紹介と記

続いて昨年の中学生交通安全全弁論大会で優秀な成績を収めた中村早希さん(双葉中学校)と西川奈々さん(増穂中学校)

による交通事故防止について自らの体験による、心に強く訴える弁論が披露され、会場の皆さんからは「感動した」、「素晴らしい」とのこたばをいただきました。

平成二十年の県内における交通事故の発生状況は、人身事故発生件数六千四百七十七件(前年比五百十五件減)、死者数五十八人(前年比二人減)、負傷者数八千五百六十八人(前年比七百六十九人減)であり、特に死者数は昭和三十三年以降最も少なかった昨年をさらに下回り、第八次山梨県交通安全計画(平成十八年～二十二年)の目標であり死者数六十人以下、発生件数六千六百件以下を達成できました。

情報誌での交通安全情報の提供、県民参加型のラジオ広報、標識・メッセージ等を掲示した大型の広告塔・看板の設置、ポスター・パンフレット・リーフレットの配布、ホームページ・Eメールによる情報の提供、テレビ・ラジオ・新聞等を活用した広報、大規模なイベントや祭典等多くの県民が参加する場における広報・啓発活動

る街頭キャンペーンの実施、「県民の日」等各種イベントにおいて放射材及び交通安全資料の配布などを行います。

山梨県交通安全協会の平成21年度事業計画

高齢者、子どもの交通事故防止 飲酒運転の根絶へ全力傾注

「地域交通安全活動推進委員会」、「山梨県二輪車安全運転推進委員会」、「山梨県自動車安全推進委員会」、「山梨県交通安全推進委員会」の事業、活動を効果的に推進していきます。

交通安全の普及・啓発活動 (1)交通道徳の普及・高揚 関係機関・団体と連携協力して、春・秋の全国交通安全運動、夏期及び年末の交通事故防止県民運動等の実施と広報媒体の活用により、県民の交通安全意識の普及及び高揚を図り、もって交通事故を防止し、地域の安全な交通社会を実現するための諸施策を推進します。

(2)広報・啓発活動 各種交通安全対策を効果的に実施するため、当協会の機関誌「やまなし交通安全情報」・「タウン

を積極的に推進していきます。

(3)交通安全キャンペーン、イベントの実施 飲酒運転の根絶における「ハンドルキーパー運動」の展開、「シートベルト着用ステッカーアップ運動」の実施、反射材の普及促進、運転中の携帯電話使用の禁止の周知徹底を図る等、県下全域において

(4)交通安全教育・訓練の推進 高齢者交通安全大会、講習会を開催し「交通安全リーダー」の育成と参加、体験、実践型の交通安全教育の推進、子どもに対する教育・訓練は発達段階に応じ家庭やPTA等の団体等と連携して、体験型の教育・訓練の実施、自転車利用の小・中・高校生に対し、自転車教室年間300回、3万人を目標に開催し全学年に「自転車」を安全ブック」を配布、二輪車では県下高校生及び二輪車を使用する職場を対象に二輪車指導員等を派遣し、参加型の教育・訓練の実施、資器材の充実(反射材効果体験シート)を図り貸出を行う、企業・団体等の要請に基づいて講師の派遣、高齢者・運転者等対象の運転適性検査の実施などを行います。

(5)各種委員会の活動の活性化と指導の強化 「地域交通安全活動推進委員会」、「山梨県二輪車安全運転推進委員会」、「山梨県自動車安全推進委員会」、「山梨県交通安全推進委員会」の事業、活動を効果的に推進していきます。

(6)各種大会の開催 広く県民が参加し、交通安全に対する意識を高揚するため「交通安全子ども自転車県大会」「高齢者交通安全大会」「二輪車安全運転推進大会」「中学生交通安全弁論大会」「交通安全推進県民大会」を開催

(7)交通安全功労者等の表彰 各種表彰及び感謝状の贈呈を行います。

(8)交通安全関連団体への支援 各地区交通安全協会と他機関・団体が行う交通安全活動への協力・支援を実施します。

大月



交通安全訴える広告塔移設

大月安協は1月、平成20年度の交通安全功労者等の表彰式を開催しました。一般功労団体1団体、一般功労者2名、特別功労役員8名、交通功労役員4名、優良支部2支部、優良運転者107名を表彰しました。また、大月インターチェンジ入り口に建てていた広告塔を市民の要望に応じて大月警察署前に移設しました。

上野原



桐原の柚子で安全呼びかけ

上野原安協は昨年末の交通事故防止県民運動に合わせ、「柚(ゆず)り合うマナーが自慢のうえのはら」を合い言葉に、長寿の里・桐原で収穫された柚を上野原町内のスーパー前で配布しました。役員ら22人が集合。ドライバー一人ひとりに柚を手渡しながらか「ゆずり合い」を呼びかけました。



甲府



交通安全呼び掛け「信玄公祭りのぼり旗」

甲府安協女性部は信玄公祭りの4月を前に、交通安全を呼びかけた「信玄公祭りのぼり旗」を甲府警察署周辺に設置しました。また同安協は春の全国交通安全運動に合わせて全戸回覧用の「交通安全家庭新聞」を作成。歩行者、自転車利用者、ドライバーのそれぞれの視点から具体的な安全策を解説しています。

また、里垣地区では甲府安協管内3つ目となる交通安全少年団を設立しました。



笛吹



女性部役員・部員らが研修会

笛吹安協女性部は2月22日、石和町内のホテル研修室で研修会を開きました。笛吹警察署長が「交通事故の発生状況と現況について」と題して講話を行いました。また、1月には甲斐一宮浅間神社で安協など交通関係団体の役員ら約85人が参加し、交通安全祈願祭も開き、1年間の無事を祈りました。



日下部



愛らしいマスコット 多彩な啓発品を作製

日下部安協は春の全国交通安全運動に備えて、バラエティーに富んだ啓発品を作製しました。パンダやカエルなどのかわいらしい動物をかたどったマスコット人形や自転車の反射材、動物のイラストが入ったキーホルダーで、運動期間中に行われる街頭指導で配布されます。1月には山梨市の差出磯大嶽山神社で交通安全祈願祭も行いました。



富士吉田



120人が安全祈願祭参列

富士吉田安協は1月に富士河口湖町の三魂交通神社で交通安全祈願祭を行いました。安協役員ら約120人が出席して今年1年の交通安全を祈りました。参加者にはお守りを配布、船津支部員が手作りしたお汁粉を振る舞いました。2月には富士吉田警察署長・富士吉田交通安全協会会長連名の表彰式が行われ、約90人が出席しました。



地区安協の活動

北杜



電動車いすの反射材を作製

高齢者の交通事故防止対策の一環として、電動車いすに貼ってもらうための反射ステッカーを作製しました。北杜市内の長寿者クラブに加入して電動車いすを利用している高齢者に活用してもらえよう、北杜市社会福祉協議会に260人分のステッカーを贈呈しました。1月には北杜市長坂町の穂見諏訪十五所神社で祈願祭を行い、1年間の交通安全を祈りました。



南甲府



恒例の「交通安全傘」を贈呈

南甲府安協は今年も、管内の小学校に入学予定の児童たち（総数1600人）に恒例の「交通安全傘」を贈りました。このうち、伊勢小学校では新入児童58人への贈呈式を行い、役員が校長らに目録を手渡しました。1月には管内の住吉神社で交通安全祈願祭を行いました。



鯉沢



増穂町の袖で安全訴え
昨年末の交通事故防止県民運動に合わせて、「ゆずっこ運動」街頭キャンペーンを呼びかけました。昨秋には鯉沢警察署や鯉沢安協などから約100人が参加してグラウンドゴルフ大会を行い、親ほくを深めました。今年1月は市川三郷町の熊野神社で交通安全祈願祭を行いました。



南アルプス



安全祈願祭で事故防止祈る

1月に南アルプス市小笠原の笠屋神社で交通安全祈願祭を行いました。南アルプス安協の役員や女性部役員、南アルプス警察署員ら約100人が出席。交通事故の犠牲者に黙祷を行い、その後の神事で車両のお祓（はら）いをしました。各種団体が協力しあって、悲惨な交通事故が減少するように祈りました。

南部



名産の「南部茶」で呼びかけ

昨年末の交通事故防止県民運動の一環として「R52セーフティドライブ作戦」を展開し、12月1日に出発式を行いました。8日には道の駅「とみざわ」で街頭指導を行い、南部茶のペットボトルに「無事かえる！」と書いたタグを付けて配布し、安全運転を呼びかけました。1月は身延山久遠寺で新年交通安全祈願祭を行ったほか、2月に女性部が山梨県総合交通センターで研修会を開きました。



韮崎



反射材付きの傘を配布

高齢者の交通事故防止を目指し、2月に韮崎警察署員とともに円野町の高齢者宅を訪問。反射材付きの傘やチラシを配りました。同日は円野町内の集会所で交通安全教室も開き、高齢者70人が参加しました。2月は甲斐市塩崎地区でも高齢者宅の訪問を行い、一人ひとりに事故防止を呼び掛けました。



交通安全協会入会のお願い

山梨県交通安全協会は、免許証の取得・更新時に会費を任意でお願いしております。協力をいただいた方の会費は、皆様の住居地の交通安全協会が悲惨な交通事故を一件でも減らすために、街頭交通安全指導、自転車教室、高齢者安全講習等の各種活動を行っておりますが、こうした活動の経費として活用させていただいております。

交通安全協会会員の皆様への支援

弁護士無料法律相談

会員が交通事故を発生させたか又は交通事故の被害者となった場合、損害賠償等で疑問があったときは当協会の委託弁護士による無料の法律相談が受けられます。

詳しくは、山梨県交通安全協会 (☎055・280・5550) にお問い合わせください。

交通事故見舞金制度

会員が不幸にして交通事故で死亡した場合や後遺症が生じた場合は、20万円を限度とした見舞金を交付しております。

免許証ケース及び交通安全セーフティードライブマップの進呈

免許証の亡失、損傷を防止するため滑り止めのついた免許証ケースを進呈します。

Eメール会員へのサービス

運転免許の更新時期のお知らせや安全運転に役立つ情報を提供します。

「ハンドルキーパー運動」推進中

ハンドルキーパー運動とは？

自動車で仲間と飲食店などに行く場合に、お酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が、仲間を自宅まで送り届ける運動です。山梨県交通安全協会では、山梨飲食業協同組合をはじめとする関係者のご協力を得ながら飲酒運転の根絶を目指して、「ハンドルキーパー運動」を推進しています。



今日のハンドルキーパーは私です!!



飲酒運転根絶めざし 交通安全出張講習会
二月二十四・二十六日の両日、全国農業協同組合連合会山梨県本部（JA全農やまなし）の職員の方を対象に、交通安全出張講習を行います。

講習は、飲酒運転の根絶を目指し、飲酒運転の危険性、悪質性、重罪性を再認識してもらう「飲酒運転根絶講習会」と、増加する高齢者の交通事故を防止するため、その他の世代が高齢者の身体機能の変化や行動特性を理解し保護意識を高める「高齢者保護講習会」の二講習で、飲酒疑似体験がね、高齢者疑似体験キットを使った体験等を行いました。熱心に受講していただき、「飲酒運転がいけないこと」はわかっているが、改めて話を聞くことで再確認した。「農家は高齢化している。仕事の中で活かしていきたい。」等の感想をいただきました。平成二十年度は、この他飲酒運転根絶講習会を五回、「高齢者保護講習会」を二回開催し、また、チャイルドシートの使用効果や正しい使用方法の講習と取り付け状況の診断を行う「チャイルドシートチェックアップ講習会」も開催しました。

二月十九日に小瀬スポーツ公園武道館において開催された表彰式には約千五百人が参加し、達成チームの代表五チームに賞状が授与されました。表彰式後に行われた抽選会では、チャレンジ200推進会議構成団体の提供による百三十七本総額三百五十万円相当の賞品が当選チームに贈られました。

県では平成二十一年度も出張講習会を実施します。職場、地域、団体活動など皆さまが集まる機会に出向いていきますので、お気軽にお声掛けください。お問い合わせ先は県民生活課交通安全担当（電話055・2233・1665）。

安協から

甲府交通安全協会は、国や県、甲府市などの官公庁のほか、大学、高校、中学校、小学校と多数の学校が存在する県都甲府市にあり、二十支部とバス・トラック・タクシーなどの十一事業部会と女性部、青年部の十三部会を構成され、五百六十

安全安心の交通社会実現へ

甲府交通安全協会会長 羽中田 進



二名の役員を中心に地域および職域において交通事故防止活動に取り組んでおります。

きかけて事故防止や飲酒運転根絶のためのチラシ等を全世帯へ回覧したほか、警察署と連携し、各地域において高齢者を対象とした講習会やランドゴルフ、子どもを対象とした交通安全教室、街頭活動等を実施してまいりました。こうした地道な交

動、地域における各種活動を通じて子どもと高齢者の交通事故防止の飲酒運転の根絶〇シートベルトとチャイルドシートの全席着用の徹底〇歩行者と自転車の交通事故防止〇交通法規の遵守、交通マナーの向上等を重点に、警察署、自治体、関係団

体と連携し、高齢者を対象とした講習会の開催や子どもを対象とした交通安全教室の開催、交通少年団の結成、街頭における啓発宣伝活動、反射材の配布、交通安全チラシ等の全戸回覧、女性ならではの感性を生かした女性部の活動、昨年結成した青年部役員等の積極的な活動により、広報啓発活動等を推進してまいりたいと考えております。

悲慘な交通事故をなくすために、協会役員が地域において交通安全リーダーとして模範を示し、今後も交通事故ゼロを目指して一歩一歩、地道に交通安全活動を推し進めてまいりますので、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

一名（前年比マイナスイナス四名）、負傷者千二百三十八名（前年比マイナスイナス百七十九名）と大幅に減少しました。当協会といたしましても、地域住民の交通事故防止に対する意識の高揚を図るため、支部役員が自治会に働

交通安全啓発活動により、地域住民の意識が高まり、交通事故の減少に貢献できたと考えております。本年も安全安心な交通社会を実現するため、春・秋の全国交通安全運動や夏・年末の交通事故防止県民運

「セーフティードライブ」達成チーム数が過去最多 チャレンジ200で表彰式



「セーフティードライブ・チャレンジ200」の表彰式
—甲府・県立文学館

第十六回目となりました平成二十年度「セーフティードライブ・チャレンジ200」は、昨年十二月三十一日で二百日間のチャレンジ期間が終了した結果、参加七千三百四十七チーム（三万六千七百三十五人）の70%にあたる過去

高い無事故率

早く優しい地元のための教習
山梨県公安委員会指定

岳麓自動車教習所

富士吉田市新西原5-5-1
☎0555-22-1689
普一、大型一・二、大特
けん引、自二
(寄宿施設有)

緑十字金章に渡邊、羽中田両氏

東京で交通安全国民運動中央大会 県内から7人5団体表彰

県内受賞者



遠藤 紀寿氏



雨宮 良哲氏



渡邊日出男氏



宮下 一子氏



羽中田 進氏



中込 功氏



内藤 進氏

第四十九回交通安全国民運動中央大会が一月十五・十六の両日、東京で開催されました。

大会は、国民一人ひとりが交通道徳を高め、交通ルールを正しく守って交通事故を防止しようという目的で毎年開かれていくものです。初日はホテルグランドヒル市ヶ谷で交通安全分科集会在開かれ、基調講演のあと交通安全対策について、地域・家庭部会、交通安全教育部会、企業部会

の三部会に分かれ、それぞれの立場で意見発表や討論などを行いました。二日目は、日比谷公会堂を会場に、常陸宮・同妃殿下の臨席を仰ぎ、内閣総理大臣(代理)をはじめ、衆参両院議長、国家公安委員会委員長、警察庁長官のほか全国各地から多数の関係者が出席する中で、交通栄誉章一緑十字金章・銀章、交通栄誉章表彰並びに受賞配偶者に対する感謝状贈呈、優良団体等表

彰や交通安全年間スローガンの発表、交通安全作文最優秀者の表彰が行われ最後に大会宣言を採択しました。

本県からは七人五団体が表彰を受け六人の配偶者が感謝状をいただきました。また、表彰では「交通安全年間スローガン」最優秀入選者に対する内閣総理大臣賞の授与が行われ、甲府市在住の高村晴夫さんが「子の成長 願う心とチャイルドシート」で受賞し

ました。本県の受賞者(敬称略)は次のとおりです。

▽緑十字金章
▽交通功労者 渡邊日出男(県安協参与理事・富士吉田安協会)

▽優良運転者 羽中田進(県安協理事・甲府安協会会長)
▽交通功労者 内藤進(県安協理事・日下部安協会会長・遠藤紀寿(県安協評議員・甲府安協会会長))

▽優良運転者 雨宮良哲(県安協評議員・笹吹安協会会長) 宮下一子(県安協評議員・富士吉田安協会)

▽優良安全運転管理者 中込功(南アルプス安協会会長)
▽優良団体 南部みどり幼稚園 優良学校 山梨園芸高等学校 優良交通安全協会 大月交通安全協会 優良事業所 株式会社田村組 優良安全運転管理者協議会 優良安全運転管理者協議会

▽感謝状受賞配偶者 渡邊和子、内藤和子、遠藤良子、雨宮みどり、宮下福男、中込やよい

▽優良安全運転管理者 中込功(南アルプス安協会会長)
▽優良団体 南部みどり幼稚園 優良学校 山梨園芸高等学校 優良交通安全協会 大月交通安全協会 優良事業所 株式会社田村組 優良安全運転管理者協議会 優良安全運転管理者協議会

▽優良安全功労者 岩澤秀廣(甲府三井進(南アルプス)小澤篤(北杜)星野國光(諏訪)佐野敏明(南部)小澤照道(諏訪)坂本義男(日下部)小池等(大月)田中英明(上野原)植原一郎(県トラック)清水昭信(県バス)大石清(県身障者)

▽交通安全功労者 雨宮正英、佐藤和夫、功刀亀久男(甲府)森田芳弘、菅野渡、大沼芳樹(南甲府)植松栄、清水定雄、保坂秀人、深沢勇、湯沢基(南アルプス)渡辺経三、道村弘、長田武次(諏訪)中山尚武、清水さゆり、古屋昭(坂本)北杜)雨宮幸雄、神田まさ美、村松百平、赤池政人(諏訪)安藤節子、遠藤守(南部)田中英光、植松治、中川孝雄、川崎洋(諏訪)武井靖男、清水孝夫、早川清広、岸本孝明(日

下部)中村一彦、渡邊義久、高村伝(富士吉田)杉本源子、石井久幸(大月)橋本強、上條勇(上野原)▽優良安全運転管理者 株式会社吉吉屋本店・増坪清、株式会社丹沢電機・丹沢和、丸丸株式会社・橋本孝三、米沢トータル株式会社・原田孝典、宮下設備工業株式会社・宮下昭、日本道路建設株式会社・増倉勝広、西関東興業株式会社・野原自動車教習所・小俣信明

▽優良運転者 小田切元子、鎌信恵子(甲府)山村光広(南甲府)近藤辰秋、飯塚巧、森本邦子、金丸武士(南アルプス)岩下連三、小林祐美、石原伍郎、雨野百合子、保延公勝、小林玉夫(諏訪)高崎信、中沢朝臣、中山透(北杜)中澤始、佐野正夫、佐藤秀子(諏訪)小泉和俊、青山勝彦、若林ふじ子(南部)渡辺明、内藤文子、坂川妙子、中澤保(諏訪)岸本武久、中村充、前田多恵子(日下部)宮下哲夫、渡辺昭行、渡辺武久、伊藤正照、渡邊喜徳(富士吉田)安富清(大月)鷹取忠美、清水とも江、秦野久忠(上野原)植原正一、滝田忠浩、高石秀彦(県トラック)長沢定雄(県バス)里吉直直(県タクシー)村松若男(県身障者)甘利正司、鶴田治彦、新津直美(県一推)

20年度交通安全功労者等表彰

優秀安協に南アルプス、北杜

山梨県警察・山梨県交通安全協会は二月十二日、南アルプス市の桃源文化会館で、平成二十年交通安全功労者等の表彰式を行いました。

表彰式では、交通事故防止に長年功績のあった、交通安全功労者の皆さんが表彰の対象となり、関東管区警察局長・関東交通安全協会会長連名表彰の二団体・一事業所、十二名と全日本交通安全協会会長表彰の交通安全功労者三十九名・優良運転者四十七名・優良安全運転管理者七名の表彰の伝達がされ、県警察本部長・県交通安全協会会長連名表彰四協会、九団体、二百四

表彰伝達

【関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会長連名表彰】
交通安全功労者 山梨中央銀行 藤崎支店(藤崎)三珠老人クラブ連合会(諏訪)
交通安全優良事業所 山梨貨物自動車株式会社(県トラック)

【全日本交通安全協会会長表彰】
交通安全功労者 雨宮正英、佐藤和夫、功刀亀久男(甲府)森田芳弘、菅野渡、大沼芳樹(南甲府)植松栄、清水定雄、保坂秀人、深沢勇、湯沢基(南アルプス)渡辺経三、道村弘、長田武次(諏訪)中山尚武、清水さゆり、古屋昭(坂本)北杜)雨宮幸雄、神田まさ美、村松百平、赤池政人(諏訪)安藤節子、遠藤守(南部)田中英光、植松治、中川孝雄、川崎洋(諏訪)武井靖男、清水孝夫、早川清広、岸本孝明(日

下部)中村一彦、渡邊義久、高村伝(富士吉田)杉本源子、石井久幸(大月)橋本強、上條勇(上野原)▽優良安全運転管理者 株式会社吉吉屋本店・増坪清、株式会社丹沢電機・丹沢和、丸丸株式会社・橋本孝三、米沢トータル株式会社・原田孝典、宮下設備工業株式会社・宮下昭、日本道路建設株式会社・増倉勝広、西関東興業株式会社・野原自動車教習所・小俣信明

▽優良運転者 小田切元子、鎌信恵子(甲府)山村光広(南甲府)近藤辰秋、飯塚巧、森本邦子、金丸武士(南アルプス)岩下連三、小林祐美、石原伍郎、雨野百合子、保延公勝、小林玉夫(諏訪)高崎信、中沢朝臣、中山透(北杜)中澤始、佐野正夫、佐藤秀子(諏訪)小泉和俊、青山勝彦、若林ふじ子(南部)渡辺明、内藤文子、坂川妙子、中澤保(諏訪)岸本武久、中村充、前田多恵子(日下部)宮下哲夫、渡辺昭行、渡辺武久、伊藤正照、渡邊喜徳(富士吉田)安富清(大月)鷹取忠美、清水とも江、秦野久忠(上野原)植原正一、滝田忠浩、高石秀彦(県トラック)長沢定雄(県バス)里吉直直(県タクシー)村松若男(県身障者)甘利正司、鶴田治彦、新津直美(県一推)

▽交通安全功労者 岩澤秀廣(甲府三井進(南アルプス)小澤篤(北杜)星野國光(諏訪)佐野敏明(南部)小澤照道(諏訪)坂本義男(日下部)小池等(大月)田中英明(上野原)植原一郎(県トラック)清水昭信(県バス)大石清(県身障者)

▽交通安全功労者 雨宮正英、佐藤和夫、功刀亀久男(甲府)森田芳弘、菅野渡、大沼芳樹(南甲府)植松栄、清水定雄、保坂秀人、深沢勇、湯沢基(南アルプス)渡辺経三、道村弘、長田武次(諏訪)中山尚武、清水さゆり、古屋昭(坂本)北杜)雨宮幸雄、神田まさ美、村松百平、赤池政人(諏訪)安藤節子、遠藤守(南部)田中英光、植松治、中川孝雄、川崎洋(諏訪)武井靖男、清水孝夫、早川清広、岸本孝明(日

優良安協など表彰した平成20年度交通安全功労者等表彰式
南アルプス市・桃源文化会館



山梨県警察・山梨県交通安全協会は二月十二日、南アルプス市の桃源文化会館で、平成二十年交通安全功労者等の表彰式を行いました。

日本交通管理技術協会山梨県支所

安全・安心な自転車にTSマークを

自転車は気軽で身近な交通手段として、子供から高齢者まで通勤・通学・買い物などに利用されていますが、自転車による交通事故も多発しています。

平成20年中、山梨県で発生した自転車による交通事故は739件で、5人の方が亡くなられ、737人の方がケガをしています。

自転車も自動車と同じ車両で、加害者となった場合は高額な賠償金が必要です。

TSマークは、賠償責任保険と傷害保険の2つがセット(別表)になっているので、もしもの時に安心です。

TSマークはTSマークのある自転車安全整備店で、点検・整備を受けマークを貼り付けてもらうと、1年間の付帯保険がついています。

別表

傷害補償	TSマークが貼付されている自転車に搭乗中の人(同乗者も含まれます)が国内で事故によって、事故の日から180日以内に死亡又は重度後遺障害(1~4級)を被った場合に支払われます。 ○赤色TSマーク 一律100万円 ○青色TSマーク 一律30万円
	上記の事故によって、入院加療15日以上(16日以上)の傷害を被った場合に支払われます。 ○赤色TSマーク 一律10万円 ○青色TSマーク 一律1万円
賠償責任補償	TSマークが貼付されている自転車に搭乗中の人が第三者に死亡又は重度後遺障害(1~7級)を負わせたことにより、法律上の損害賠償責任を負担した場合に支払われます。 ※対物損害は対象外です。 ○赤色TSマーク 最高限度額 2,000万円 ○青色TSマーク 最高限度額 1,000万円

第二種TSマーク(赤マーク)



第一種TSマーク(青マーク)



AMS (山梨県自動車整備振興会)



◇「子ども110番のお店」を通じた、子どもたちとのふれあい

安全・安心なまちづくりに貢献する事業活動の一環として、犯罪や不審者によるさまざまな危険等から、大切なお子様を守る緊急避難連絡所として、「子ども110番のお店」を開設しています。

今回は、甲府市桜井町ボランティアの会主催の「子ども安心・安全教室」に参加し、児童・保護者の皆様に「子ども110番のお店」周知啓蒙の機会を得て、開催しました。

◇日時 平成21年1月25日(日) 10:30~13:00

◇場所 甲府市桜井町公民館

○「てんけんくん」・「せいびちゃん」による「子ども110番のお店」説明

○「子ども110番のお店」保護者宛チラシの配布

○「子ども110番クリアケース」のプレゼント

○子どもたちに「ぬりえカレンダー」の作成

○「てんけんくん」「せいびちゃん」と一緒に写真撮影

☆教室終了後、全員で手作りのカレーライスを楽しみました。



SJD 自動車安全運転センター

無事故・無違反ドライバーの証

SDカードが生まれ変わりました!

SDカードは5種類!



20年以上の安全運転者に向けた「SDスーパーゴールドカード」が新たに仲間入り!!



《SDカードの特典》

SDカードをお持ちの方は、金融機関での「マイカーローン金利サービス」「安全運転定期預金」、スーパーでのポイントサービス、ガソリンスタンド、レストラン、ホテル、レジャー・リラクゼーション施設(ゴルフ場、遊園地、スキー場、温泉)、クリーニング店等安全運転センターと契約している「SD優遇店」での割引等のサービスを受けられます。(サービス期間は、カード取得から1年)

《SDカードの取得方法》

自動車安全運転センターでは、無事故・無違反証明書又は運転記録証明書を申請された方で、1年以上無事故・無違反の方にはSD(Safe Driver)カードを差し上げています。

*証明書の発行には、1通700円の手数料がかかります。

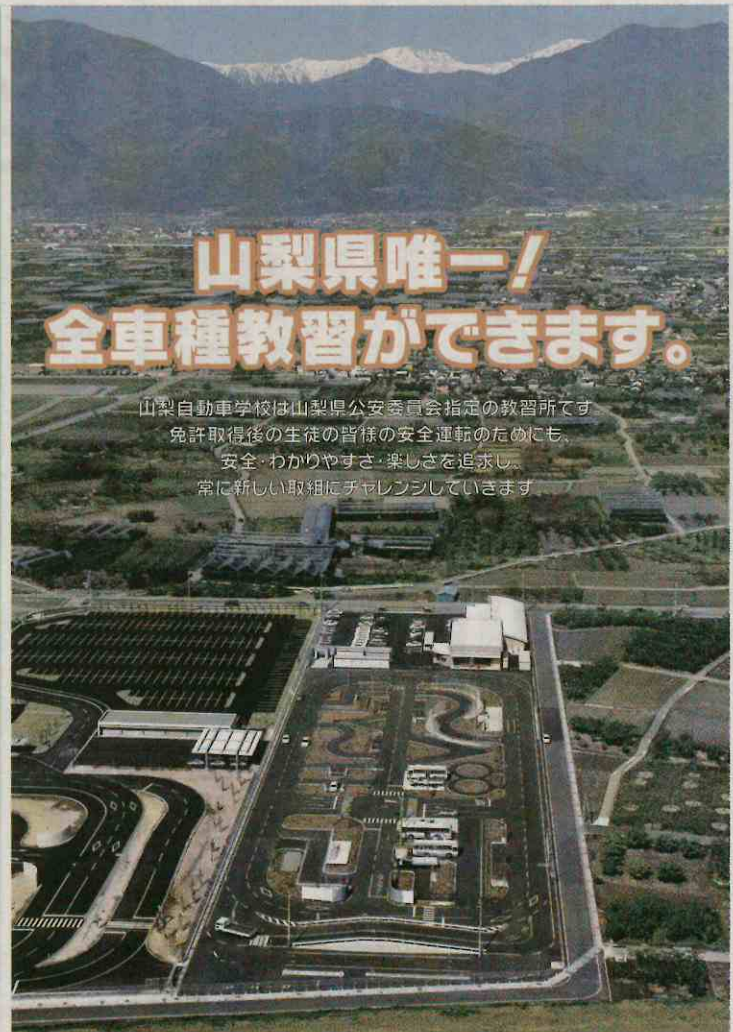


SJD 安全運転をつくろう。
自動車安全運転センター山梨県事務所
TEL(055)285-2345 FAX(055)285-2951
http://www.jsdc.or.jp

山梨自動車学校

山梨県唯一! 全車種教習ができます。

山梨自動車学校は山梨県公安委員会指定の教習所です。免許取得後の生徒の皆様の安全運転のために、安全・わかりやすさ・楽しさを追求し、常に新しい取組にチャレンジしていきます。



山梨県公安委員会指定

山梨自動車学校

山梨県南アルプス市下高砂847
TEL.055-285-0752 FAX.055-285-0701
URL http://www.y-ds.jp/ i-mode.http://www.y-ds.jp/i/



年中無休 0120-915752